

感染性胃腸炎の集団発生があった場合の対応方法

※実施できたら□にチェックを入れてください。

発症者に対して・・・

- 速やかに医療機関を受診させること。
高齢者や乳幼児は、下痢や嘔吐が続くと脱水になり重症化しやすいので注意して下さい。学校等で発症した場合は、無理をしないようにして下さい。
- 手洗い・うがいを徹底すること。(特に排便後、食事前後)
便の中にウイルスが出てきます(発症して約2週間)。また口からウイルスが入り腸で増えます。
- 入浴・トイレ・(食事)の場所や時間を非発症者と分けて下さい。
発症していない人と接触する機会をできるだけ減らして下さい。

職員のやること

- 手洗い、うがいを徹底すること。(特に排便後、食事前後)
- 発症者の入浴・トイレ・(食事)を非発症者と場所や時間帯を分けること。
- 汚物処理を適切に行うこと。(吐物・便・おむつなど)
次亜塩素酸系消毒剤を使って消毒して下さい。ウイルスはアルコール系消毒剤では効果がありません。濃度に注意して使用して下さい。
- 消毒を実施するときは、取扱い説明書に従い使用すること。
ビニール手袋やマスク、エプロン等を着用することや使用濃度、換気に注意して下さい。また、通常より回数を増やしましょう。
- 換気を十分に行うこと。
ノロウイルスは、乾燥すると空気中へ拡散します。換気をするると空気中のウイルスの濃度が薄くなります。
- 汚物で汚れた部屋のカーテン等を洗濯すること。
汚物が付着している場合は、次亜塩素酸系消毒剤で消毒した後、通常の洗濯をして下さい。
- マスクを着用すること。
- 面会者や外来者の制限をすること。
- 患者と接触した者(家族等面会者を含む)は自宅でも手洗い・うがいを徹底するよう伝えること。

日頃から、施設内の健康状況を把握しておいて下さい。
また、発生時の対応を施設内の全職員が把握しておくようにして下さい。